

令和6年7月25日からの大雨災害に関する栄養・食生活支援活動報告会開催要領

1 目的

令和6年7月25日に庄内及び最上地域を中心に発生した大雨災害では、県と山形県栄養士会による災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定に基づいた活動及び行政管理栄養士による栄養・食生活支援活動が行われ、災害時における栄養・食生活支援活動の必要性とともに、日頃の行政管理栄養士等の組織体制・人材育成体制の重要性の認識が高まっているところである。

そこで、これらの活動状況について共有し、今後の組織体制整備や人材育成につなげるため本報告会を開催する。

2 実施主体 山形県

3 共催団体 公益社団法人山形県栄養士会

4 対象

市町村、県の栄養・食生活支援活動を担当する行政栄養士、保健師等及び防災担当者
山形県栄養士会会員及び災害時の栄養・食生活支援活動の関係者

5 日 時 令和7年2月20日（木）13：00～15：45

6 場 所 zoomによるオンライン開催

7 内容

（1）講演 （講演45分、質疑15分）

「災害時栄養・食生活支援活動の県、保健所、市町村の役割～熊本地震の経験から～」

講師 女子栄養大学 准教授 久保彰子氏

（2）報告会 （80分）

（実践活動報告50分：約10分×5人、意見交換30分） ※実践活動報告者調整中

- ① 「連携協定と運用」（山形県がん対策・健康長寿日本一推進課管理栄養士）
- ② 「連携協定による活動」（公益社団法人山形県栄養士会）
- ③ 「被災市での栄養・食生活支援活動」（酒田市健康課管理栄養士）
- ④ 「被災地管轄保健所での栄養・食生活支援活動」（最上保健所地域健康福祉課管理栄養士）
- ⑤ 「派遣職員としての栄養・食生活支援活動」（村山保健所地域健康福祉課管理栄養士）

コーディネーター 最上保健所長 山田 敬子氏
助言者 女子栄養大学 准教授 久保 彰子氏